

FDI (フルデジタルイノベーション) 誌上展示会 2020 (PART III)

メディアテクノロジー関連 WEB サイト情報 (June)

為ヶ谷 秀一

展示会やイベントで発表される情報を、インターネット上のウェブサイトと紙媒体である雑誌との連携を図り、夫々が必要とする適切な情報の取得に活かす取り組みとして、筆者の所に送られてきた e-mail や web 情報の中から、メディアテクノロジーに関連するトピックスをピックアップして紹介する。

2020年5月13日
[NAB Show Express]

4月にラスベガスで開催される予定であった「NAB Show 2020」は、新型コロナウイルス (COVID-19) の影響で中止されたことに伴い、インターネット上でバーチャルなオンライン・イベント「Keeping Our Community “CONNECTED”」として5月13日 (水) から14日 (木) に亘って「NAB Show Express」が開催された。

「NAB Show Express」は、インターネット上でイベントに参加登録をすることで、無料でキーノート・セッションやトークイベントに参加することが出来る。

5月13日 (水) (日本時間14日深夜1時) から、例年のNAB Show オープニングと同様に、NAB 会長 Gordon Smith 氏による「State of the Broadcast Industry」(放送業界の現状について) の講演が行われた。

「このイベントは、私たちにとって新しいフォーマットであり、新しい体験です。ラスベガスでお会いするのが待ち遠しいですが、この様な新しいデジタルによるショーの経験も、今後の活動に活かして行きたい。」

また「放送局は、今最も暗い谷の中にいます。その中で、信頼される情報を配信して、人々の命を守っていることに感謝します。」と述べた。このオープニング講演に引き続き、ゲストに迎えた FCC (連邦通信委員会) 議長 Ajit Pai 氏と、この放送業界の困難な状況に対する取り組み等について、オンラインでの対談が行われた。

日本時間の深夜にライブで配信されてきたオープニングセッションに参加しましたが、時差を越えてリアルタイムに参加することは大変に厳しかった。しかし、イベントに参加登録をすることで、主要なイベントは24時間オンデマンドで視聴することができるサービスが提供されているので、後からゆっくりと視聴することも出来る。また、オンデマンドのビデオには、英語のサブタイトル(字幕)が付けられているので、内容を理解する上で有用であった。

(関連するウェブサイト)
<https://nabshow.com/express/>



2020年5月14日

欧州で毎年開催されるメディア、エンターテインメントおよび最新技術に向けた機器展示会やコンファレンスセッションなどが行われる「IBC 2020」を、今年は中止す

ると IBC CEO Michael Crimp 氏が発表した。米国で開催される「NAB Show」、日本で開催される「Inter BEE」と共に、この分野における三大コンベンションの一つであり、例年5万人を超える参加者を世界中から迎えている。

今年のIBC 2020は、9月11日から14日に亘って、オランダのアムステルダムで開催される予定であった。

新型コロナウイルス (COVID-19) の影響で、主要な企業が既に不参加を表明している状況と共に、新型コロナウイルスの感染状況などが懸念されていた。

今後については、NAB Show と同様に、オンライン・コミュニティ・プラットフォームとして年間を通してIBCの情報発信を行っている「IBC365」により、バーチャルによるIBC 2020を企画するとしている。

詳細は、近日中に発表される予定である。

(関連するウェブサイト)
<https://www.ibt.org/?adredir=1>



Hldeichi Tamegaya
メディア・テクノロジー・コンサルタント

オタリテック

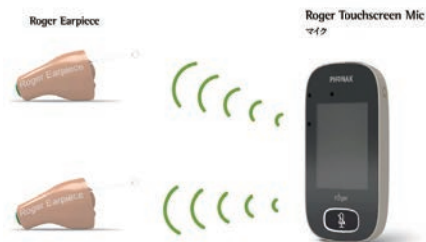
PHONAK roger

Phonak 『Roger™』ワイヤレス・コミュニケーション・システムは、ライセンスフリーの2.4 GHz 帯を利用したデジタル・ワイヤレス・イヤープース・コミュニケーション (送り返し)システム。

補聴器メーカーとして世界的に有名な Phonak 社の技術を用いて開発されたストレスフリーで小型のイヤープース型受信機、低ノイズで高いサウンド・クオリティ、簡単な設定を特徴とし、様々なアプリケーションで演出の邪魔にならずに最適なスタジオ・コミュニケーションを提供している。

なおPHONAK 社は、スイスに拠点を置き、創立から70年という歴史を持つPhonak 社はデジタル補聴器のグローバル・ブランドとして名高く、同社の補聴器システムは全世界100カ国以上で利用されている。

世界最先端の補聴器メーカーとして培った技術をベースに開発されたイヤープース型のコミュニケーション・システム『Roger™』は世界中のブロードキャスト、カンファレンス、博物館などの現場で使用されており、イヤープース・ヘルスケア・ブランドとしてスタートしたPhonak 社のテクノロジーはコミュニケー



- サブネットワークモードへ切り替えることでマイクとワイヤレス・レシーバーはダイレクトに接続可能

ション・ツールとしても世界的な信頼を得ている。

Roger™ BaseStation



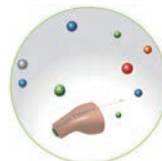
ライセンスフリーの2.4 GHz 帯を利用
XLR / 6.3 mm オーディオ・バランス入力 (コンボ端子)
LED 入力レベル・メーター
-14 ~ +12 dB のボリューム調整
有効範囲: 15 ~ 40 m
ウォールマウント/ ラックマウントが可能
寸法・重量: 132 × 132 × 44mm, 488g

Roger™ Earpiece

Phonak 社補聴器システムの技術を用いたイヤープース



全長18 mm のマイクロ・サイズ
重量1.3 g の超軽量設計 (バッテリー含)
最大 100 dB SPL



1つのネットワーク内に無限に接続可能な設計
簡単な取り扱いとクリーニング
最大12時間のバッテリーライフ
通信ネットワーク範囲外になった際には警告音で知らせる。

Roger™ TouchScreen Mic

ライセンスフリーの2.4GHz 帯を利用
接続されている個々の『Earpiece』のボリュームを独立してコントロール可能
ハンドヘルド・マイク内蔵
タッチスクリーン・メニュー (日本語表示可能)



『TouchScreen Mic』と『Earpiece』のみの通話も可能なサブ・ネットワーク設定あり

最長10時間の動作時間
作動範囲: 15 ~ 40 m
充電式リチウム・ポリマー・バッテリーでの駆動
寸法・重量: 104 × 55 × 16mm, 94g

Roger™ Repeater

『BaseStation』⇔『Earpiece』間の接続距離を延長させたい場合や死角となるエリアがある場合に使用



『TouchScreen Mic』と同一サイズの筐体を用いた設計

Phonak Roger ▶ http://www.otaritec.co.jp/products/phonak_roger/index.html



Roger Touchscreen Mic マイク



Roger BaseStation ベースステーション

Roger Earpiece ワイヤレス・レシーバー



Roger Repeater リピーター



Roger Earpiece ワイヤレス・レシーバー



朋 栄

■ InSync Technology が 英国 Queen's Enterprise Award を受賞

4K/8K 製品やフォーマット変換製品の輸出企業として、英国を代表する 220 社の 1 社に認定

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、英国 InSync Technology Ltd.（本社：英ハンプシャー州ピーターズフィールド、www.insync.tv）と共同で開発した各種制作機器を、InSync 製品としてワールドワイドに提供している。このほど、InSync Technology が、国際貿易部門で 2020 Queen's Award for Enterprise（英国女王賞）を受賞したことを報告する。

英国女王陛下から贈られる英国で最も権威のあるビジネスアワードとして知られる「英国女王賞」は、今年で 54 年目を迎える。授賞式は、今夏開催されるロイヤルレセプションにおいて行われ、受賞した企業は今後 5 年間、英国女王賞エンブレムを使用することができる。

受賞した 220 社・団体の 1 社となった InSync Technology は、国際的な番組交換における動き補償付きフレームレート変換や、あらゆるビデオフォーマット変換に

関する重要なコンポーネントを開発している。

MCC-4K や IF4K-DNC など、4K/8K 関連製品やフォーマット変換製品を含む輸出製品により、国際貿易において英国を代表する企業として認められた。

InSync Technology のパオラ・ホブソン（Paola Hobson）社長は、英国女王賞の受賞について次のように話している。

「InSync スタッフの献身的な努力が認められ、英国女王賞を受賞することができました。世界各国のテレビとメディア配信によって世界中の視聴者に届けられるコンテンツは、最高の品質であることが求められます。InSync 製品が世界中に輸出され、放送業界で使われていることを本当に嬉しく思います。」

InSync Technology Ltd. について

InSync Technology Ltd. は、2003 年に設立。設立以来、動き補償フレームレート変換とフォーマット変換を用いた、非常に効率的な信号処理ハードウェア製品およびソフトウェア製品の開発に特化し、放送および関連市場向けの製品設計および製造サービスを提供する会社として成長し続けています。InSync によって開発されたハー



ドウェア製品は、市場をリードする OEM 業者および再販業者とのパートナーシップを通じて販売されています。ソフトウェア製品については、InSync およびソフトウェアシステムパートナーから直接入手可能です。



www.insync.tv



www.for-a.co.jp

ノイトリック

InterBEE2019 では「NA2-IO-DPRO」や「opticalCON DRAGONFLY」を展示。

opticalCON DRAGONFLY（オプティカルコン ドラゴンフライ）は従来の一般的なハイブリッドカメラ信号伝送システムよりも堅牢で信頼性が高く、保守が容易。特許取得済みの XB2 テクノロジーを採用したファイバレンズにより、最小限の損失で非常に堅牢な信号伝送を実現している。また、光学接続部分はレンズとシーリングカバー（オプション）により、汚れや埃に強くなっている。

NA2-IO-DPRO は 2 イン 2 アウト、発売以来好評の NA2-IO-DLINE と同じサイズにヘッドアンプ（ファンタム電源搭載）、AES/EBU コンバーター、Dante ネットワークの冗長化、デジチェーン対応等様々な機能を搭載しており、ラバープロテクションカバーを外せばラック、机、天井にマウン可能、カバーを付ければステージ上に直接置いても安心して使用できる。



opticalCON DRAGONFLY

マイクのゲインやファンタム電源、パッド、ラインアウトのボリュームやミュート設定は Mac または Windows PC より専用コントロールソフトウェアで操作可能。AES/EBU はインプットの 2 番に信号を入力すると自動的に AES/EBU モードに切り替わる。

NA2-IO-DPRO の背面パネルには、ノイトリック製イーサコンを使用したプライマリおよびセカンダリ Dante ポートがある。

セカンダリ入力は、冗長化（リダンダント）モードまたはスイッチモード（デジ



チェーン用)のいずれかに設定できる。

60W の PoE を使用した場合最大 8 台、30W の場合は最大 4 台までデジチェーン接続が可能。

NA2-IO-DPRO は NA2-IO-DLINE と同様に AES67 に準拠しており、電源供給は外部の PoE スイッチもしくは PoE インジェクターから行う必要がある。

▶ <http://www.neutrik.co.jp/>



ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパンは、InterBEE2019では、System T S500 (x 2台)、System T S300を紹介。

Network I/O HC Bridge SRC、Live L550、Live L100

AWS Delta 948、XL Desk、SiX、Fusion X-Rack

System TはNative AoIP デジタルコンソールで、Dante HCを採用。7.1.4までのImmersive Audio制作。AES 67、SMPTE 2110ネットワーク対応。VR制作用のプラグインツール内蔵。ポストプロダクション用のDAWコントロール、ダイナミックオートメーション機能を搭載している。

S500は16フェーダーから288フェーダーまでのフレーム構築が可能とし、S300は16フェーダーまたは32フェーダーフレームとなっている。

Live L550とL100はPA用デジタルコンソール。L550は昨年L500からバージョンアップを行った。

アナログ機器は、アナログコンソールと



S500は16フェーダーから288フェーダーまでのフレーム構築が可能としている。

DAWコントロールを融合したAWS Delta 948、アナログプロセッシングエンジンのFusion、XL-Desk、デスクトップミキサーSiXを紹介。

www.solid-state-logic.co.jp



7.1.4までのImmersive Audio制作
AES 67、SMPTE 2110ネットワーク対応

エーティコミュニケーションズ

エーティコミュニケーションズは衛星に関する多種多様な製品を扱っているが、衛星中継車の設計・製造も行っている。InterBEE2019のブースでは、トヨタハイエースをベースにしたSNG車を展示していた。通常このタイプの車をベースにした場合、乗車定員は3名程度であるが、今回展示していたSNG車は定員5名である。座席に工夫があり、運転席側の背もたれをハンドル側に倒すということでオペレーション空間を広く取れるようになっている。基本的な仕様は、衛星アンテナに“SWE-DISH DA-120”を搭載し、6KVA・



ノートパソコンサイズの“Satcube Ku”



NMG電源システムを採用している。また、ポータブル型ブロードバンド衛星端末“Satcube Ku”はノートパソコンサイズで重量は8kgと超小型で軽量なので飛行機内に持ち込み可能で、専用バックパックでの運用もでき、ホットスワップ対応のバッテリー交換も可能である。伝送レートは

15Mbpsと広帯域でモバイル中継装置との連携も可能で、衛星の補足も数分で完了する。

<http://www.bizsat.jp/>



キヤノン・キヤノンマーケティングジャパン

キヤノンは、映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM の新製品として、新開発の「DGO センサー」採用により広いダイナミックレンジを実現するとともに、4K/120P のハイフレームレート記録に対応したデジタルシネマカメラ「EOS C300 Mark III」を2020年6月下旬に発売すると発表した。

新製品は、映像制作や放送用コンテンツ制作など、さまざまな撮影現場で好評を得ている「EOS C300 Mark II」（2015年9月発売）の後継機種。従来機種から基本性能を刷新するとともに、上位機種「EOS C500 Mark II」（2019年12月発売）と同じく、ユーザーが撮影現場に応じて自由にカスタマイズできるモジュールデザインを採用し、幅広い映像コンテンツの制作に対応している。

また、EF シネマレンズの新製品として、CINE-SERVO レンズ「CN10 × 25 IAS S/E1（EF マウント）」と「CN10 × 25 IAS S/P1（PL マウント）」を、2020年7月上旬に発売。8K カメラに対応する光学性能と高倍率の10倍ズームを実現し、1.5倍のエクステンダーをレンズ本体に内蔵した「CINE-SERVO レンズ」シリーズのEF シネマレンズ。8K カメラに対応する高い光学性能を生かして、4K カメラでも高品位な4K 映像の撮影

ができる。肩担ぎが可能な軽量設計に加え、放送用レンズ同様の操作性を実現する着脱可能なドライブユニットを標準装備しており、放送コンテンツ制作用途から、映像制作用途まで幅広いニーズに対応している。

さらに、業務用4K ディスプレイ2製品（DP-V1710/DP-V1711）を対象に、高輝度化を実現するファームウェアの有償アップグレード対応を2020年6月下旬に開始するほか、業務用4K ディスプレイ7製品（DP-V1710/DP-V1711/DP-V2410/DP-V2420/DP-V2421/DP-V2411/DP-V3120）を対象に、各種機能・性能の向上を図るファームウェアを2020年6月下旬より無償提供する。

キヤノンの業務用4K ディスプレイは、映像制作現場のニーズに対応するファームウェアの提供により、これまでも定期的に機能を拡充している。2018年6月から提供しているHDR モニタリングアシスト機能は、業界で権威のあるHPAの2018エンジニアリング・エクセレンス・アワードを受賞するなど、ユーザーからも定評がある。今回のファームウェア提供により、ユーザーの利便性をさらに高め、映像制作現場を強力に支援する。



キヤノンお客様相談センター
050-555-90006

●CINEMA EOS SYSTEM
ホームページ
canon.jp/cinema-eos



●ディスプレイホームページ：
canon.jp/v-display



モガミ電線

放送局、レコーディングスタジオ、公共ホール等の業務用オーディオ・ビデオ及びコンピュータのインターフェース・ケーブル等を開発し、販売を行う同社では、定評のある柔軟かつ機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学技術に於いて他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かした付加価値の高い製品作りを行なっている。

このような高度な技術を活かし、イーサネットケーブル、BNCコネクタ付き同軸ケーブル、110Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、

0.226mm² ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロフォン・ケーブルなどを主力製品としている。

InterBEE2019での同社ブースでは、ケーブルの違いによるギターの色音の違いを来場者者に実感してもらうテストが行われ、注目を浴びていた。

そのほか、3極⇄5極変換アダプター、120Ωターミネーター、RoHS対応の「DMXシリーズ」アクセサリや、アメリカBTX社のネジ止め方式のコネクタ「ターミナルブロックコネクタ」などを紹介した。



▲試聴テストに使用されたケーブル

試聴テストを行なった来場者▲

www.mogami-wire.co.jp



MOGAMI BNC-2964

もう回す必要はありません! BNCコネクタ付き同軸ケーブル

共に高品質な部品を提供し続けてきたモガミ電線と多治見無線電機の組み合わせで実現されたフィールドエンジニアの為の夢のケーブルです。

50Ω/75Ωの両タイプ共あります。

ワンタッチロック「PUSH-PULL」方式採用！密集したパネルや設置時間の短縮、頻繁な抜き差しに格段の効果を発揮します。

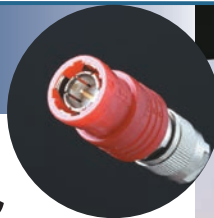
お問い合わせ

モガミ電線株式会社

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: <http://www.mogami-wire.co.jp>

軽い! やわらかい! ワンタッチ!

Click
カチッ



フォービット

《オーディオミキサー/マトリックス》

《NEW》12×10 ポータブルデジタルオーディオミキサー「PMX-1210」:アナログライクな操作性のポータブルデジタルオーディオミキサーで、EIA19 インチラックに実装可能なW420 x H160 x D460のサイズ。デジタル(AES-3id)/アナログ信号混在の12×10 デジタルオーディオミキサー。

EIA19 インチラックに実装可能で、INPUTはデジタル/アナログ入力モノラル8系統、アナログステレオ入力、ステレオリターン入力各2系統。モノラル入力/ステレオ入力は、デジタル(AES-3id)入力と切り換え使用が可能。モノラルチャンネルは、2タイプのHPF/LPF、2タイプのコンプレッサー、3バンドのEQが使用可能。

2系統のマスター出力とバス出力は、デジタル(AES-3id)とアナログL/Rにて出力。AUX出力はアナログL/Rが1系統、モノラルが2系統。デジタル(AES-3id)で選択出力可能。マスター及びバス出力はラウドネス値の計測が可能。モニター出力はL/Rアナログ1系統が使用可能。

コミュニケーション入力1系統、TB及びPFL信号(択一選択)の外部出力1系統使用可能。ダイレクトアウト1系統(アナログ8チャンネル)。内蔵TBマイク及びモニタースピーカー搭載。同期信号は、入力AES信号、WORD、VIDEO信号(NTSC/PALを自動切り換え)が選択可能。本機を2台接続し、カス



ケード接続による入力チャンネル増設可能。

32×20 アウトプットマトリックスユニット「MTX-2420」:SDIエンベデッド音声・デジ・アナ混在入力可能/ラウドネスメータ機能、ダウンミックス機能を搭載。

6×6 オーディオマトリックスミキサー「MTX-0606」:デジ・アナ混在入力、AC・DC電源併用、カスケード接続可能。

《MADI, 22.2 マルチチャンネル音響 関連機器》
22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」:MADI入力×1系統、デジタル入力×4系統、MADI出力×2系統(パラレル出力)、デジタル出力×4系統、デジタルモニター出力×1系統/モノ/ステレオ⇒22.2ch音響にアップコンバート/22.2ch音響⇒5.1ch⇒ステレオにダウンコンバート
22.2ch 音響ラウドネスメータユニット



22.2ch 音響アップ/ダウンコンバータ「T-1508」

「LM-22」:22.2ch+5.1ch+2chを3系統同時ラウドネス計測。

MADI ディレイユニット「MD-64」:最大6秒×64ch

MADI ディストリビューションアンプユニット「MDA-8」

30ポイントMADI 32ch バーグラフメータユニット「MB-532」:MADI信号(AES-10)の音声レベルを表示する30ドット32チャンネルのバーグラフメータ。「SELECT」スイッチにより、MADI信号の「1~32ch/



「33~64ch」の表示を切り換えることが可能。

《3G/HD/SD-SDIエンベデッドオーディオモニター》

MADI オーディオモニター「MS-564」:

MADI信号を直接入力してオーディオモニター可能。22.2から5.1およびステレオへのダウンミックス機能(専用デジタル出力装備)。上記ダウンミックスのモニターも可能。ダウンミックスの係数設定を、5.1およびステレオともに3パターンプリセット可能。入力素材やダウンミックスを自由に割り当て可能なMADI出力(電源OFF時は入力スルー)。

3G/HD/SDエンベデッドオーディオモニター「MS-822V」:VUメータ搭載。エンベデッド音声、デジタル音声、アナログ音声に対応。

3G/HD/SDエンベデッドオーディオモニター「MS-832」:AC電源またはDC+12V電源から選択。可搬型コンパクトステレオモニタースピーカ W158×H86×D130mm



<http://www.fourbit.co.jp>

ますます多様化するフィールド で応える柔軟さと確実性

FB
FourBit

株式会社
フォービット

〒358-0014
埼玉県入間市宮寺2720
TEL: 042-934-7720
FAX: 042-934-5664
TEL: 042-935-0551 (営業部直通)
URL: <http://www.fourbit.co.jp>

PMX-1210

12×10ポータブルデジタルオーディオミキサー
税抜価格¥1,950,000



- アナログライクな操作性
見た目のままの安心感
- EIA19インチラックに
実装可能
外形寸法 W420×
H160×D460
- カスケード接続による入
力チャンネル増設
- AC電源とDC+12V電
源併用によるリダンダン
ト動作
- マスターアウトのラウ
ドネス計測機能
- TBマイク、モニター
スピーカー内蔵
- ビデオ同期/ワードク
ロック同期/デジタル入
力同期

アイ・ディー・エクス

株式会社アイ・ディー・エクスは、長年にわたり、放送・映像業界において、リチウムイオンバッテリーをはじめ、充電器の開発、販売をしており、現在では放送・映像業界ではリーディングカンパニーとして評価されている。

この度は、この業界で培った知識と経験を活かした新製品のポータブル電源を紹介する。撮影現場において、発動発電機を電源として使用するケースが多いと考えられるが、騒音や排ガスの問題がある。

ポータブル電源はリチウムイオンバッテリーを搭載しており、音はほとんど出ないし、排ガスも一切、排出はしない。発動発電機の使用ができない室内や夜間の住宅街などでも力を発揮する。夜間の中継、住宅街、室内等での撮影向けの電源として使用できると考えている。機器の管理面において、発動発電機の場合はガソリンなどの燃料の保管管理、エンジンのメンテナンス等、資格や知識が必要で煩雑な管理が必要となるが、ポータブル電源の場合は定期的にコンセントから充電する

のみ、発動発電機のような燃料の管理やエンジンのメンテナンスのような作業は不要。誰でも簡単に管理を行える。また、1Kwhクラス、3Kwhクラスについては、キャスターやハンドル付きで移動も容易、さらにUPS機能を搭載しており、日常はUPSとして、非常時は非常用電源としても使用できる、コストパフォーマンスの高いポータブル電源となっている。

現在のラインナップは、容量別に300whクラス、1Kwhクラス、2020年4月以降にリリース予定の3Kwhクラスがある。

<ポータブル電源のラインナップ>
コンパクトな卓上型ポータブル電源で300Whクラスの**“IPS-300AU”**
出力:AC100V × 1 (正弦波)、USB (DC5V) × 3口、TYPE-C (PD対応) × 1口、シガーライター (DC12V) × 1
特徴：小型卓上型ポータブル電源ながら、AC出力とDC出力両方に対応。
キャスター付きで移動も容易な1Kwhクラスの**“IPS-1000A”**



出力：AC100V (正弦波) × 2
特徴：強力インバータで1Kw (ピーク2Kw) の出力
キャスター付き、ソーラー充電対応1Kwhクラスの**“IPS-1000AS”**
出力：AC100V (正弦波) × 2
特徴：強力インバータ出力とソーラー充電対応。
2020年4月以降にリリース予定の3Kwhクラスの**“IPS-3000A”**
出力：AC100V (15A) × 3口、AC100V (30A) × 1口 (すべて正弦波)
特徴：3Kw出力 (ピーク6Kw) の強力インバータ搭載。
<https://www.idx.tv/jp/>



ネットワークエレクトロニクス

同社では、Digital Nirvana (デジタルニルヴァーナ) 社「Minitor IQ」(モニターIQ) を国内初公表。Monitor IQは、Volicon Observer (ポリコン オブザーバー) に代わるデジタルニルヴァーナ社法定同録装置である。Debian Linux ベースのwebサーバーアプリケーション製品であるSDIベースバンド及びTS、IPなど多くの入力方式に対応した長時間録画と軽快なファイルハンドリング機能を持つマルチチャンネルモニタリング機能を実装。同録、モニター、レポート、ファイル変換・転送が可能。データ解析、ソーシャルメディア向けやOTT、ストリーミングサービスとの連携が可能となっている。

また Nevia 製品では、Live IP メディアコントロール & オーケストレーション、多機能メディアプロセッサ・ゲートウェイ、IP/ベースバンド・ハイブリッド・システムインテグレーション「VideolPath/Virtuoso」を紹介 (写真上)。

BRIDGE TECHNOLOGIES 製品では、IP ×



ディアモニタリング監視、集信/配信メディア監視、非圧縮ベースバンド、TS圧縮ビデオオーディオメディア「Stream Labs」を紹介。そのほか、CHYRONHEGO センサーレスリアルタイムバーチャルグラフィック合成システム「VIRTUAL PLACEMENT」などの展示も行なった。
[▶https://network-electronics.co.jp/](https://network-electronics.co.jp/)



digital nirvana™ **Monitor IQ**

「法定同録だけじゃない」

放送事業者は、幅広い規制およびコンプライアンス要件を満たすために、放送コンテンツに関する知識を収集して使用する必要があります。Digital Nirvana の MonitorIQ は、放送事業者にコンテンツの記録、保存、監視、分析、再利用を可能にする安全で使いやすいソリューションを提供いたします。

Volicon Observer ブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログ製品の販売終了の発表により、Digital Nirvana は Volicon の顧客が次世代のブロードキャストモニタリングおよびコンプライアンスログプラットフォームにスムーズに移行できるよう支援いたします。

製造元：
digital nirvana digital-nirvana.com

輸入販売元：
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社

エスシーアライアンス

<Harmony Radio System >

20年以上に及び全国100局を超える放送局への「DAD 自動運行システム」の販売、施工、サポートを行ってきた実績を基に、この度新しく国産のラジオ局向け放送自動運行システム「Harmony」を開発した。

「Harmony」はラジオ局に必要な自動運行システム(APS)、CM/番組再生(DAF)、放送素材管理、音声スイッチャー、営放システム(EDPS)更にスタジオDAWの機能もオプションで追加できる、Windows PCベースの総合放送システム。PCベースの実機を紹介した。

<https://ss.sc-a.jp/harmony/harmony-basic-set/>



<Omnia 社製品>

Omnia MPX Node(新製品):アナログMPX信号を直接320kbpsでIP伝送するインターフェースユニット。

演奏所に設置したサウンドプロセッサのピークコントロールされたL/R信号、パイロット信号をIPストリームで送信所に伝送。更に、1台のOmnia MPX エンコーダーは同時に複数の送信所のMPXデコーダーにも配信可能。MPXデコーダー出力を送信機のMPX入力に直接接続ができ、クリアなサウンドを提供。

<https://ss.sc-a.jp/omnia/>



<Telos 社製品>

Infinity AoIP インカムシステム(新製品、参考出展):AoIP対応(Livewire+, AES6準拠)のインカムシステム。Axia製のAoIPネットワークコンソールシステムのユーザーは既存のオーディオネットワークをインカム用にも使用可能。

親機のようなセントラルマトリクスも不要でインカムシステムを構築。

<https://ss.sc-a.jp/TELOS/>



<Digigram 社製品>

IQOYA TALK(新製品):今後の5Gにも対応するIPポータブルオーディオコーデック。中継用途やトークショーに最適なポータブルオーディオIPコーデックで、1台で最大4人のゲストにスタジオ品質のインタビューが可能。

<https://ss.sc-a.jp/Digigram/>



<BW Broadcast 社製品>

TX50V3(新製品):5~50W出力可変のFM送信機「TX50V2」の後継機種。TX50V3ではFM同期放送用送信機としても対応できるように10MHz/1PPSシンク入力を備え、周波数の高安定度化、μSec



ステップのディレイ調整、パイロット信号の位相調整機能、MPX出力ディレイ調整などが標準機能として追加。

https://ss.sc-a.jp/bw_broadcast/



<Inovonics 社製品>

米国Inovonics社は40年以上にわたって、高品質なAM/FMモジュレーションモニター、放送用オーディオプロセッサ、RDSエンコーダーを製造してきたメーカーであるが、本展では簡易FM放送監視チューナーの新製品「INOMINI 673」を中心に、FM放送監視チューナー「650 AARON」、FMモジュレーションモニター「531N」などを紹介。

<https://ss.sc-a.jp/inovonics/>



高橋建設

高橋建設では、1979年の創業以来、防音工事専門業者として自社による責任施工を貫き、日本全国で専門技術者が対応している。InterBEE2019では、サイズが自由な簡易型アナウンスブースを展示。録音ブース・調整室・編集室・視聴室等で幅広く活用できる。

多様化する映像業界のクリエイティブワークを独自のシステムと、確かな遮音技術でフレキシブルにサポート。最近ではインターネット放送等が行われ防音室があると便利である。

www.takahashi-kensetsu.co.jp



映像スタジオ施工

多様化するデジタル映像環境に対応、映像スタジオ施工なら豊富な実績、直営システムに依る徹底したコストダウンを実現する

Takahashi Construction Co., Ltd.
SOUND PROOF
匠の技をスタジオに

MA室ブース各種 編集室

新設、リニューアルに関わらず何でもご相談ください。

~映像・音響専門で
42年~

〔映像・音響・防音・建築・設計・施工〕

一級建築士事務所

高橋建設株式会社

本社 〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8

TEL044-853-0547 044-852-1588

〔社〕日本ボストロダクション協会会員 / 〔社〕日本音楽スタジオ協会会員
〔社〕日本音響学会会員

<http://www.takahashi-kensetsu.co.jp>
info@takahashi-kensetsu.co.jp

伊藤忠ケーブルシステム

伊藤忠ケーブルシステム、オンラインイベント【Virtual NAB 2020】を開催

伊藤忠ケーブルシステム株式会社（東京都品川区 / 代表取締役社長 土屋 健二）は、オンラインイベント【Virtual NAB 2020】を開催した。

「新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響から、ラスベガスで開催予定であったNAB Show 2020についても無期延期となったが、伊藤忠ケーブルシステムでは、同社が販売代理店となる各社ベンダー協賛のもと【Virtual NAB 2020】と称したWebinar イベントを開催した。AWS Elemental 社、MediaKind 社をはじめ、Bitmovin 社、Haivision 社等、例年NAB Show に出展しているベンダーより、NAB Show で発表を予定していた各種最新情報を紹介。

以下にその概要と内容の一部を紹介する。

●主なセッション内容

< Net Insight >

◆パネラー Net Insight

Head Of Sales-Singapore Office
Chong Kok Leong 氏
ANZ Regional Sales Manager Reza Rahimi 氏

◆概要

光映像伝送装置 Nimbra は、さらに大容量化し 4K リモートプロダクションにも対応。公衆 IP 回線伝送を可能にしたシリーズ追加や、クラウドを利用した新サービスを紹介した。

< CenturyLink >

◆パネラー CenturyLink, Inc.

Director Gautier Demond 氏
Account Director Mackenzie Logan 氏

◆概要

CenturyLink が従来展開する CDN ソリューションに加え、昨秋買収した StreamRoot 社が有していた WebRTC による映像配信技術「メッシュソリューション」のシナジーを紹介。

< Telestream >

◆パネラー Telestream Inc.

Senior Solution Consultant Fan He 氏

◆概要

エンコーダのエントリー製品 Wirecast からハイエンドトランスコードワークフロー・Vantage や周辺システムまで幅広く展開する Telestream 社から今回が来る同時配信時代のサービス監視のひとつの解である IQ Solutions を紹介予定です。ヘッドエンドからデリバリーネットワークまでを統合的にモニタリングするソリューションの仕組みを紹介した。

< BitmovinPlayer/Analytics >

◆パネラー Bitmovin Inc.

Head of Player Christoph Prager 氏
Head of Analytics Daniel Balis 氏
Support Specialist Kazuhide Yamamoto 氏

◆概要

いち新興エンコーダベンダから現在の映像配信インフラの牽引役まで成長した Bitmovin。汎用性の高い HTML5 プレイヤと視聴解析ソリューションを紹介した。

< Haivision >

◆パネラー Haivision

VP Product Marketing Marcus Schioler 氏
CCO & EVP, Strategic Partnerships Peter Maag 氏

◆概要

SRT プロトコルの開発元として今や配信技術推進の一翼を担う Haivision 社より現在のユニークな製品から将来のロードマップまで紹介した。

<伊藤忠ケーブルシステム>

◆パネラー 伊藤忠ケーブルシステム

メディアサービス部 営業第 1 グループ課長 酒井 尚也
メディアサービス部 営業第 1 グループ 青木 隼一

◆概要

SDI over IP や最新コーデックのメーカー対応状況等、取り扱いメーカーの最新情報を紹介した。（Synamedia 社、AppearTV 社等）

< Harmonic >



◆パネラー Harmonic Japan 合同会社

シニア・プリセールス・エンジニア
吉田 靖之氏
シニア・セールス・エンジニア
池田 行宏氏
ゼネラル・マネージャー 田代 陽介氏

◆概要

ブレイアウトシステムから OTT 設備まで現在グローバルで進められている放送とネットの融合をもっともソリューションに落とし込んでいる Harmonic から、ハイライトを紹介した。

< MediaKind >

◆パネラー Mediakind

VP Product Management Stuart Boom

◆概要

旧 envivio、旧 Ericsson Media Solutions を経てエンコーダベンダとして実力を示し続ける MediaKind 社によるソリューションコンセプトを紹介。多くの事業買収の結果、映像伝送から配信、次世代コーデックや AI 技術を援用したビデオエンコーディングなど先端的な紹介をした。

< AWS Elemental >

◆パネラー アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

ソリューションアーキテクト 小林 剛氏

◆概要

旧 Elemental 社の買収によりコンテンツ配信市場の中心プレイヤーに位置する AWS からオンプレミスとクラウドの融合による End-to-End ソリューションのハイライトを紹介する。



関連 URL

<https://www.itochu-cable.co.jp/>

コスミックエンジニアリング

•PoE 機能による多彩な切替制御と入出力映像把握が同時可能 コンパクトルーティングスイッチャー :gen

株式会社コスミックエンジニアリングでは、ユーザー要望に即した12G-SDI、3G-SDI、AES/EBU 対応のコンパクトルーティングスイッチャー gen シリーズ全15機種を発表、2020年5月より逐次発売開始。

入出力数は、各信号モデルとも16x16、24x24、32x32、48x48、64x64のラインナップを用意、本体より脱着可能な専用コントロールパネルを用いて、運用状況に応じた様々なルーティング制御を実現する。

12G-SDIモデルと3G-SDIモデルは、出力バスとは別に独立した4分割/16分割のマルチビューワモニタリング出力を装備し、任意の入出力映像表示、ラベル表示、タリー表示が可能。

AES/EBUモデルについては、サンプリングレートコンバート機能、テストトーン出力機能を有しており、従来のルーティング系統設計で課題だった部分を解消するものとし



て期待される。

また、コントロールパネルは、シングルバスタイプ、マルチバスタイプ、そしてジョグセレクト型のマルチバスジョグタイプと、運用シーンに応じて多彩なパネルを用意。

特にマルチバスジョグタイプは、6.6型ワイドLCDを装備し、クロスポイント入出力映像把握を直感的に行える等、正にライブ制作

に適したルーティング操作が実現出来るものとして期待されている。



<http://www.cosmic-eng.co.jp>

ITG マーケティング

ITG マーケティング株式会社は、USB 3.2 Gen 2 (10Gbps) インターフェースに対応したセキュリティ機能搭載の外付け SSD [Samsung Portable SSD T7]

■ 名刺サイズのコンパクトボディに最大転送速度 1,050MB/sを実現した[Samsung Portable SSD T7] を2020年6月上旬より販売。

■製品特長

・最大転送速度 1,050MB/s

PCIe NVMe テクノロジーと USB 3.2 Gen 2 インターフェースを組み合わせた「T7」は、シーケンシャル読み出し / 書き込み速度を最大 1,050 / 1,000 MB/s まで向上させ、現行モデルの Portable SSD T5 と比べて約 1.9 倍、外付け HDD と比べて約 9.5 倍の転送速度を実現する。

・データ保護と優れた堅牢性

「T7」は AES 256 ビット ハードウェア暗号化のオプションパスワードにより、個人データなど、セキュアに管理したい情報、ファイルをより安全に保存できる。

最大 2メートルの高さからの落下にも耐える堅牢性を備えた頑丈なメタルボディを

採用しており、保存されている大切なデータを守る。3年の限定保証が付いている。

・洗練されたデザイン

「T7」は名刺サイズの大きさで、重さ 58g、厚さ 8mm とコンパクトかつスタイリッシュなデザインで持ち運びに便利。カラーはインディゴブルー、メタリックレッド、チタングレーの3色展開で、容量は 500GB、1TB、2TB をラインアップ※。

※一部のモデルは受注後、メーカーからの取り寄せとなる。

■製品ラインアップ T7



ITG マーケティング株式会社

<https://www.itgm.co.jp>

| 製品 | 容量 | カラー | 型番 | 価格 | 想定価格(税込) |
|----|-------|----------|--------------|----------|----------|
| T7 | 500GB | インディゴブルー | MU-PC500H/IT | オープンブライズ | 14,980 円 |
| T7 | 500GB | メタリックレッド | MU-PC500R/IT | オープンブライズ | 14,980 円 |
| T7 | 500GB | チタングレー | MU-PC500T/IT | オープンブライズ | 受注後、取り寄せ |
| T7 | 1TB | インディゴブルー | MU-PC1T0H/IT | オープンブライズ | 25,480 円 |
| T7 | 1TB | メタリックレッド | MU-PC1T0R/IT | オープンブライズ | 25,480 円 |
| T7 | 1TB | チタングレー | MU-PC1T0T/IT | オープンブライズ | 受注後、取り寄せ |
| T7 | 2TB | インディゴブルー | MU-PC2T0H/IT | オープンブライズ | 受注後、取り寄せ |
| T7 | 2TB | メタリックレッド | MU-PC2T0R/IT | オープンブライズ | 受注後、取り寄せ |
| T7 | 2TB | チタングレー | MU-PC2T0T/IT | オープンブライズ | 46,980 円 |

※価格はオープンブライズ。店頭想定価格については表を参照。* 受注後、メーカーからの取り寄せとなる。

Espial (Enghouse Company)

Espial は TV 事業者向け TVaaS 型クラウドベースビデオ配信プラットフォーム「Elevate Cloud IPTV」を提供している。



ン対応で、クライアント端末選択の自由度が高い。さらに優れた UI テンプレートをベースに簡単にカスタマイズやブランディングが可能としている。

「Elevate Cloud IPTV」のノンストップ・イノベーションによって短時間で運用を開始でき、満足度の高いユーザー・エクスペリエンスを迅速にカスタマーに提供できる。

「Elevate Cloud IPTV」は高度で緻密なターゲット・プロモーションが可能でアップセルやクロスセルに貢献する。

また、「Elevate Cloud IPTV」は高度な分析機能、強力なセグメンテーションエンジン、柔軟なプロモーション管理機能を搭載し、同プラットフォームを導入した事業者の収益と売り上げ目標達成に貢献する。

さらに、アクティブなオペレーターグループあるいは MSO (マルチプル・システムズ・オペレーター) 間で、マーケティングに関する情報や、問題解決のための技術的なベストプラクティスを共有 (マルチテナント) することも可能で、システム全体のコスト (TCO) が大幅に削減できる。

同プラットフォームは、既に北米で 40 以

「Elevate Cloud IPTV」について

「Elevate Cloud IPTV」は、SaaS 型ターナーキーより一歩踏み込んだ TV as a Service (TVaaS、ティアバス) 型として提供されるクラウド・ホスティング・ビデオ・プラットフォーム・ソリューションで、バックオフィス、android/iOS/FireTV などのクライアント・アプリ、クラウド環境、サポート、運用 / 監視、メンテナンスに至るまで、TV サービスを一つのクラウド・ソリューションとしてケーブル、テレコム、衛星放送、OTT の TV 事業者を提供される。また、これらの全ては 1 か所まで管理・制御ができ、24 時間 365 日のフルサポート管理体制を提供可能としている。

「Elevate Cloud IPTV」のクライアント・アプリは非常に高速で、高度な UX をエンドユーザーに提供する。また、マルチスクリー

TVaaS型ビデオプラットフォーム Elevate Cloud IPTV



上のケーブル、IPTV 事業者に納入、稼働しており、あるケーブル事業者が IP-VOD を新たにサービスとして加えるために、わずか 60 日間でサービスインに漕ぎ付けたという事例がある。TCO も同プラットフォームを導入することにより、最大で 65% も削減できた事例もある。

Espial は 2019 年に Enghouse グループの一員となった。強力なバックアップを得てより良いサービスを事業者様に提供する。



<https://www.espial.com/elevate-cloud-jp/>

【問い合わせ先】エスピアル

金森 幸雄 Yukio Kanemori

Espial Group Inc. (Enghouse Company)

Mobile: 090-6128-7377

<http://www.espial.com>

ATV

ATV 株式会社は、映像スイッチャーやコンバーターなどを製造販売している国内メーカー。

【製品紹介】

4K Series



① HDMI2.0 2ch 4K 1M/E AV MIXER 『A-PRO-1』

4K60p 対応のミニマム AV ミキサー。2 入力 2 出力の最小構成、合成各種、静止画 STILL、4K/HD 間の UP & DOWN コンバート、フレームレート変換、リモート制御、複数台連動、信号断による自動切替、等々。

② HDMI2.0 4ch Multi-format Seamless Switcher 『AV-4K-4X1』

HDMI2.0、 HDCP2.2/1.4 対応、マルチフォーマット入力、ディゾルブ切替、4 画面マルチビュー、P in P 等の設定をプリセット記憶、RS-232、IR、LAN によるリモート制御、等

③ HDMI2.0 4ch SPLITTER with DOWN CONVERTER 『AV-4K-1X4』

④ HDMI2.0 to 12G-SDI Converter 『AV-4K-HS』

⑤ 12G-SDI to HDMI2.0 Converter 『AV-4K-SH』

2K Series



⑥ Video Converter 『AV-5S/AV-3 SERIES』

SDI と HDMI を繋ぐハイスpekコンバーター。フレームバッファ機能、各種ソースに自動対応、外部シンクロ、音声入出力等。

今回の新型コロナウイルスの影響により、様々なイベントの中止やテレワークの推奨等で、ライブ配信や Skype などの遠隔コミュニケーション手段が再注目されており、これを契機に今後もこれらの手段が更に社会に浸透していくものと思われる。弊社の製品の中には、このような用途に適した機能を搭載しているものがある。

(② 『AV-4K-4X1』 :PC や Mac と直接接続してネット配信や Skype などに使用できる機能)、デモ機の貸出し



<http://www.atvcorporation.com/products/videos/>

リーダー電子

「LV5900」8K 対応波形モニター、「ZEN シリーズ」に追加された 4K-IP (25G) モニター / ジェネレーター、「LT 4610」の8K 対応は、今後の国内・海外需要に適應させたあらゆるユーザー層に推奨しうる製品。

また、イギリスの世界的な映像、音響、放送測定器メーカーであるPHABRIX 社が当社の仲間になり、製品ラインナップが強化された。さらに、新しい試みになるクラウド環境を利用したコンテンツヘルスチェッカーを開発した。このような多様化するニーズに対応しうる製品を一堂に展示した。

◇ LV5900 8K 波形モニター



8K/4K/2K 映像フォーマット

- ・波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能
- ・MADI 入力対応 ・液晶サイズ : 9 インチ
- ・4U ハーフラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5900/>



◇ LV5600 2K/4K/IP/4入力波形モニター

- ・4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド



- ・波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・液晶サイズ : 7 インチ
- ・3U ハーフラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5600/>



◇ LV7600 2K/4K/IP/4入力ラスタライザー



- ・4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド
- ・波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・1U フルラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/rasterizer/lv7600/>



◇ LV5300/LV5350



2K/4K/2入力 波形モニター

- ・LV5300 EYE 付き
- ・LV5350 EYE無し
- ・波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・液晶サイズ : 7 インチ
- ・3U ハーフラックサイズ
- ・電源 : DC10V ~ DC18V

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5300/>



▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5350/>



◇ LV7300 2K/4K/2入力ラスタライザー

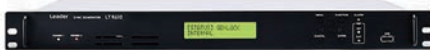


- ・SDI & IP ハイブリッド
- ・波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・1U フルラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv7300/>



◇ LT4610 ジェネレーター



- ・アナログブラック同期信号出力
- ・ゲンロック機能
- ・GPS/PTP/12G 4K オプション
- ・2重化電源

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4610/>

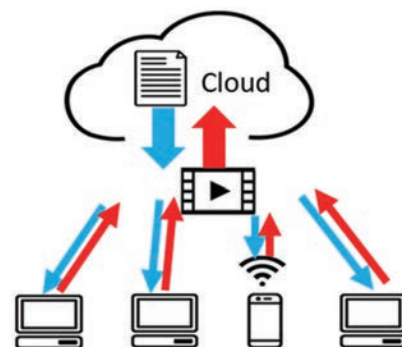


◇ LT4448 チェンジオーバー



- ・入出力BNC11組、LTCのチャンネル
- ・対応信号 : SDI 信号、NTSC / PAL ブラックバースト信号、HD 3 値同期信号、AES / EBU デジタルオーディオ信号
- ・ワードクロック信号、LTC 信号
- ・2重化電源・異常アラーム

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4448/>



◇ クラウド型QC [参考出品]

- ・動画・音声を含むコンテンツの異常をチェックするクラウドサービスです。
- ・コンテンツの異常と思われる部分を抽出します。
- ・複雑なパラメーター設定は必要ありません。

◇ LF965 4K/8K 対応レベルメーター



日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送 (4K / 8K 放送)、衛星デジタル放送 (2K 放送)、および地上波 / CATV デジタル放送に対応したレベルメーターです。

▶ <https://www.leader.co.jp/products/rf/lf965/>



◇ PHABRIX TAGC アナライザー / ジェネレーター



- ・IP ST2110 / ST2022 対応
- ・コンジットの入出力 (BB, 3 値対応)
- ・ビデオ信号発生器 3G/HD/SD-SDI

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/sx-tag/>



◇ PHABRIX QX



ハイブリッド IP/SDI、4K/UHD、HDR/WCG 世代の高度なラスタライザー

▶ <https://phabrix.com/ja/products/qx/qx-series/>



◇ VB440 高性能 IP トラフィック監視装置



- ・高ビットレート IP メディアトラフィック監視
- ・QoS (Quality of Service)
- ・デュアル 100 ギガビット
- ・ST2110 / ST2022-6 非圧縮メディアをサポート
- ・8K / 4K IP サポート

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/bridge-vb440/>



エレクトリ



新製品 SPL Mercury

エレクトリは、SPL 社の Mercury を発売する。

Mercury は、SPL 独自の 120V テクノロジーを使った初めてのステレオ DA コンバーター。

2つの AES/EBU 入力、2つのオプティカル入力、2つのコアキシャル入力、USB 入力の計 7つのデジタル入力を搭載している。PCM デジタル信号の場合は最大 32-bit/768kHz、DSD 信号の場合は DSD256 に対応する。



製品の詳細は

<https://www.electori.co.jp/spl/mercury.htm>

新製品 ISO Acoustics ISO-PUCK 76

ISO Acoustics 社の ISO-PUCK 76 の発売案内。

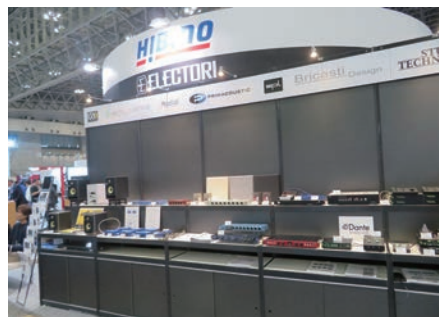
ISO Acoustics ISO-PUCK シリーズは、スタジオモニター、ギターアンプなどのシステムをアインソレートする革新的なアイテム。新たにラインナップに加わった ISO-PUCK 76 は、1PUCK あたりの耐荷重が 18kg のため、より大きいサイズのスピーカーやアンプに対応する。1箱あたり 2つの ISO-PUCK 76 が同梱されている。



製品の詳細は

https://www.electori.co.jp/isoacoustics/iso-puck_series.htm

製品名：ISO-PUCK 76
 本体価格：8,800 円（税込み：9,680 円）
 製品コード：UPC: 810514000805



NCITE-813A

三友

InterBEE2019 にて、映像制作に関わる効率的なワークフローを実現する製品や撮影用ペリフェラル製品を出展。撮影機材では、大判センサーをカバーするイメージサークルを持つ Leitz のシネマレンズをはじめ、DJI 製品、超小型の放送用カメラ Dream CHIP ATOM one を展示。また編集機材では、ハイエンドオンライン編集・カラー&フィニッシングシステム Grass Valley Rio 4K/8K のシステムを紹介した。

この他、8K 光 / 無線伝送のシステムなど、様々な機材の実動展示を行なった。

ORCA バッグ：ORCA は、放送や映画のプロフェッショナルに最適なカスタムバッグ

やアクセサリを提供するために生まれた。全てのプロフェッショナルの仕事を手軽に、快適に、素早くこなせるようにすることが ORCA のモットーである。ORCA の研究開発チームは映画、音声、テレビ産業に 30 年以上もの間携わっており、この経験が最適な機材バッグを提供することを可能にしている。

全ての ORCA 製品はその研究開発チームによって最先端の技術や道具を駆使して製造されています。その結果デリケートなビデオ、ライト、音声機材などを保護し、運ぶことができるケースを設計することが可能になっているとのこと。

最高峰シネマレンズ『Leitz』

日本初公開となる大判センサーをカバーする Leitz の新プライムレンズ



NEW・LEITZ PRIME/NEW・LEITZ ZOOM/
 NEW・THALIA-T
 ・ M 0.8 ・ MACROLUX 114, 95 他



Grass Valley Rio 4K/8K

ハイエンドオンライン編集・カラー&フィニッシングシステム



ORCA と PortaBrace バッグ類が並んだコーナー



<https://www.mitomo.co.jp/>

ニツキャビ

新型コロナウイルス収束後も注意すべきウイルスに対し、効果を発揮する製品を案内する。

1. 「注意すべきウイルスに効果を発揮する当社製品、素材について」

新型コロナウイルス収束後も我が国にはインフルエンザやノロウイルスなど気に掛けるべき病原菌がある。

cyber RAIL、space RAIL など木製テーブルの仕上げに選定できるマーモリウムも、ノロウイルス/A型インフルエンザに対して抗ウイルス効果があることが実証されている。

また、医療・クリーンルーム等抗菌処理が必要な空間に対応したシステムラック、抗菌仕様 NOW ラック用意している。詳細は是非、下記 URL よりご覧ください。



http://www.niccabi.co.jp/products/cabinet/now_antibacterial/index.html



抗菌処理された 19 インチシステムラック。医療・クリーンルーム等抗菌処理が必要な空間に対応したシステムラック。

< ラック引取・廃棄サービスのお知らせ >
お手元にある不要なラック、処分にお困りではありませんか？

弊製製のラックであれば、引取・廃棄の他、部材追加や仕様変更に伴う再納品も可能。

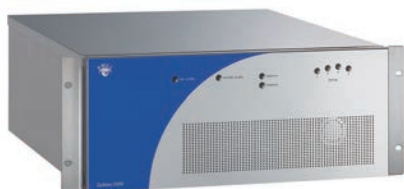
▼ ラック引取・廃棄サービスのお知らせ ▼

<http://www.niccabi.co.jp/information/news/RHH.pdf>



K-WILL

● 2K/4K 画音監視「QuMax3000/FED」 (Full/Reduced Reference)



映像・音声監視ソリューションの中核製品であるQuMax シリーズに新たに加わった 4K 12G-SDI 映像・音声監視ボード「PROBE 12G」を展示。2K 対応 PROBE 300 シリーズと組み合わせることで、1 台で 2K/4K 映像・音声監視を実現する。ITU-T J.144 標準方式をベースに、画素・音声サンプルを直接比較することにより、より緻密な 4K 監視を実現する。

さらに、4K 12G-SDI 対応の特徴量抽出デバイス「FED」(Feature Extraction Device)を初公開。コンパクトな 1RU ハーフラックサイズのこの装置は、2K/4K 映像/音声の特徴量や ANC データを取り出し、最大 12Gbps の情報量を 1Mbps までエッセンス化し、IP ネットワークで監視地点まで送出 (1 筐体あたり 2 系統入力可)。監視地点では、映像や音

声の送信元や受信先から受け取った複数の特徴量を解析することで、遠隔地点間の伝送状態を、リアルタイムに監視することが可能となる。

● 4K/8K HDR 画質評価「VP4000」 (Full Reference)



「VP4000」は、2160 59.94p フルサンプルの 4K 基準画像及び評価画像の時間軸を自動補正することで画素同士を比較し、輝度差分値 Y_PSNR と共に、ITU-T J.144 国際標準方式による DSCQS (二重刺激連続品質尺度) をフレーム単位でリアルタイム計測 (エミー賞受賞)。その評価精度は、ITU-R 500 シリーズによる主観評価と同等で、さらに 8K 画質評価及び HDR 対応へと進化した。ブースでは 4K 画像の画質評価をハンズオンで紹介した。

● 2K/4K 画音検査「ProQ4000」 (No Reference)

「ProQ4000」は、PC ワークステーション



上で 12G SDI、3G Quad SDI もしくは 4K ファイルに対して、ブロックノイズ、ラインノイズ、プーチ音等一瞬のノイズをリアルタイムで正確にとらえることができる、2K/4K 対応映像・音声検査装置。ブースでは、1~2 フレームのカクリやスキップフレーム、黒味やノイズ混入の検査とエラーキャプチャー機能



などを紹介した。

<http://www.kmw.co.jp/>



ヴァイテックグループ

ヴァイテックプロダクションソリューションズとヴァイテックイメージングは、InterBEE2019に共同ブースで出展した。

ヴァイテックプロダクションソリューションズ: Vinten、Sachtler、oconnor、ANTON BAUER、Autocue、autoscript、Litepanels など、多数のブランドをもつ同社では、一昨年までの flowtech のモデルは、flowtech 75、flowtech 100 において、Vinten と Sachtler とが組み合わせたモデルが登場していたが、本展では OCONNOR の新しいヘッド Ultimate 1040 と組み合わせたモデルが新登場。これで、flowtech は Vinten や Sachtler のほか OCONNOR の3つのブランドが組み合わせられたラインナップとなった。

flowtech は革新的な高速セッティング機構、および厳しい使用環境を想定した耐久性を備える、まったく新しいカーボンファイバー製の三脚システム。撮影現場におけるワークフローの大幅な改善と、撮影の自由度の向上を可能とする数々の新開発テクノロジーが搭載されている。

ヴァイテックイメージング: マンフロットブランドのビデオ雲台・三脚・カメラバッグなどを中心に、取り扱いを始めた JOBY 小型三

脚、Lowepro カメラバッグも展示。ナイトロテックフルードビデオ雲台は、ビデオカメラの傾きに反発するカウンターバランス機構に、革新的なナイトロジェン（窒素ガス）ピストンを採用。一般的なバネを使用した機構に比べコンパクトなサイズで、強力かつ無段階のカウンターバランスを実現します。ナイトロテックN8とN12雲台（8kgと12kgまでの機材に対応）と、各種三脚とのキットをラインナップ。今回、マンフロット初のカーボン製ツインチューブ三脚も参考出品し befree シリーズのハイスpekモデル「befree GT XPRO」や、Syrrp のモーションコントロールデバイス「Genie Mini II」を展示。

トラベル三脚 befree シリーズにマクロ撮影や俯瞰撮影に便利な90° センターポール



flowtech の展示コーナー



機構を搭載したハイスpekモデル befree GT XPRO を新製品として出品したほか、無段階カウンターバランス搭載で話題になった Nitrotech の新シリーズを出展。

また、スライダーに搭載してパンやティルト、タイムラプス撮影ができる Syrrp の新バージョン Genie Mini II、ゴリラポッドに代表される JOBY からはアルミ軽合金を採用することで堅牢性を向上させ、2本のアームでLEDライトなどのアクセサリの装着に対応したゴリラポッドの新モデルを出展。そのほかにも、Lowepro のアウトドアフォトグラファー向けのバックパックや Vinten のスタジオペダスタル、Sachtler や OCONNOR の三脚などを出展した。



<https://www.vitecproductionsolutions.jp/>

富士フィルム

InterBEE2019では、各ジャンルのレンズコーナーを設けたほか、ブース内に4K大型中継車を展示した。

高倍率レンズコーナー: 主に高倍率レンズを展示。新製品の4K箱型レンズ「UA107x8.4 AF」と「UA125x8」が国内初出展。オートフォーカスの合焦精度や高倍率ならではの画角を体感できた。

シネマレンズコーナー: フルサイズ対応ズームレンズ「Premista 28-100、80-250」を展示。望遠タイプ（80-250mm）はダナードリーに搭載して展示を行った。

報道レンズコーナー: 小型・軽量タイプのUA24X7.8などをカムコーダーに搭載して出展。担いだ際のバランスや操作感をタッチ



& トライで確認できるデモを行なった。また、2019年8月に販売開始した同社初の望遠監視カメラ「SX800」を展示。40倍ズームでの遠方撮影、防振性能、高速AFが目玉された。

スタジオ/中継レンズコーナー: ARIA、RBFを搭載したUA13X4.5レンズや、寄れて引ける4KレンズのUA18X5.5、UA27X6.5などを出展いたします。クレーンや天吊りスタイルで展示することで、現場での操作感をイメージすることができます。

西尾レントオール 中継車コーナー: 2019年12月にレンタルを開始した、レンタル業界初の4K大型中継車を展示（写真左）。FUJINON4Kレンズが多数採用されており、中継車内からモニターチェックが可能。

Xコーナー: ミラーレスデジタルカメラ最新モデル「FUJIFILM GFX100」や「FUJIFILM X-T3」と、Xシリーズ専用シネマレンズ「FUJINON MKXシリーズ」を組み合わせた小型・軽量の撮影システムを紹介。

FP-Z5000によるブース演出: 世界初の「屈



曲型二軸回転機構レンズ」を搭載し、本体を動かさずにレンズの回転だけでさまざまな方向へ投写できる超短焦点プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」を使いブース演出を行った。



タックシステム

Avid S6 およびDolby HT-RMU を用いたDolby ATMOS ステージにて、Dolby ATMOS ミキシングセミナーを行った。また、同ステージでは、Avid Technology 社から新しく発売となったAvid S4 コンソールも併設展示した。

<ADDER ALIF-4000 シリーズ>

Adder 社からは4K 映像に対応したAdder Link Infinity「ALIF-4000」シリーズが登場。このシリーズとしての新しいハードウェアは従来の機種をはるかに凌ぐパフォーマンスと将来性を持ったプラットフォームとして設計されている。初登場のバージョンですすでに4K60P 映像2系統を1台のユニットで伝送できるパフォーマンスを携え、ファイバー接続によって従来以上の切り替え速度とレイテンシーを実現している。画質についてもピクセル・パーフェクトなロスレス圧縮転送によってカラーグレーディングやCG制作に完全に対応した唯一のIP-KVM システムと言える。アップデートにより、HDR への対応も予定されており、放送、映像スタジオ・システムにフォーカスしたロードマップを敷いている。なお、ALIF-4000 シリーズは、従来のInfinity システムとの互換性を有するため、システム全てを4000 シリーズで

組む必要はない。

低解像度のVGA、1K、2K といった従来のInfinity シリーズの中に必要な部分だけ組み込むことが可能で、全体のシステムコストを抑えたシステムを実現することができる。

<Directout Technologies PRODIGY.MC>

多くのMADI インターフェイスを送り出してきたDirectOut Technologies 社からは、新たに登場した「PRODIGY.MC」を展示。「PRODIGY.MC」は、既存の「ANDIAMO2.XT シリーズ」をさらに発展させ、モジュール・スロット・タイプのI/O カードのセクションによってスタジオの要求に合わせたコンフィギュレーションを自由に組めるフレキシビリティを備えている。また、MADI インターフェイスだけでなく、ネットワーク・オーディオにも対応し、Dante、Ravenna、WSG の3種類のネットワーク・オーディオ・カードを選んで実装することができる。

<Yellowtec iXm Podcast >

非常に高性能なマイクゲイン・コントロール機能「LEA」エンジンを搭載したレコーダー内蔵のマイクロホン「iXm」に価格を抑えた「iXm Podcast」が登場した。どのような現場でも適正なマイクゲイン・コントロールによって歪まず自然なインタ



InterBEE2019 タックシステムのブース

ビュー収録が可能で、しかも収録操作は片手でOK。

<NTP Technology >

デンマークのSKAARHOJ 社のOEMによってNTP Technology 社からPenta シリーズ用のマトリクス・コントロール・ユニットが発売となった。Penta 内部のマトリクス・ルーティングの切り替えと必要な部分のレベル・コントロールをリモートすることができる。また、内部のコンフィギュレーションによってブラックマジック・デザイン社製のビデオ・ルーターなども同時に制御することが可能で、スタジオでのライン切り替え、マシナールームでのルーティング、中継車での回線チェックなどに最適なオプションとなる。モデルは、EIA 1U と2U の2タイプが用意されている。

武蔵/武蔵エスアイ

◇DCP-73 制御アプリケーションソフトウェアシステム [新製品]

DCP-73 はSONY XDCAM Station をコントロールするWindows アプリケーション。XDS のファイル操作のプラットフォームGUI として使用可能。

- ・クリップの並び替えや送込が可能。
- ・Internal/PD/SxS のクリップ作成が可能。
- ・ファイルの転送が可能。
- ・最大4台のXDS の制御が可能。

◇MDC-74 マルチデバイスコントローラ



ディスクレコーダ、VTR のリモートコントローラ。

- ・カラー液晶を搭載
- ・4ポートのTC とステータス表示

- ・ファイル、CUE のリスト表示
- ・±設定可能なPre Roll/Post Roll 機能
- ・LTC 入出力装備
- ・FF/REW は可変速可能
- ・NEXT/PREV 動作可能

その他の標準製品は以下の通り。

- ・MDC リーズ デバイスコントローラ
- ・DCP-1500 for EVS 動画ファイルソフトウェアシステム
- ・MCI シリーズ コントロールインターフェース

◇MV Xシリーズ マルチチャンネルビデオレコーダー

MV Xシリーズはマルチチャンネルビデオディスクレコーダー（サーバー）。モデルにより1入力1出力から4入力2出力のラインナップがある。

◇ViBox8 All In One Live Production System

SimplyLIVE 社製ViBox は、複数の映像音声入力の同時収録、ビデオミキシング/スイッチング、オーディオミキシング、ビデオキーヤー、収録中のビデオの再生及びスロー再生（撮って出し再生）、ハイライト編集、ピ



デオクリップのロギング機能などを1台のビデオサーバーに集約したAll In One Live Production System である。

◇Qx12G | QxIP IP、4K/UHD+HDR の信号発生器/分析ツール

Qx12G | QxIP は英国Phabrix 社の製品でSDI 及びIP の信号発生器及び信号測定/分析器。SD から12G-SDI 及びIP の各信号の各種測定結果をLCD 画面上に一覧表示できますので回線チェックや、送映像の監視に最適。

4K/UHD までのSDI (12G/6G/3G/1.5G-SDI) を基本にIP の機能を追加でき、ハイブリッドなSDI /IP のテスト環境を構築できる。

